

平成28年 第1回定例会

3月2日から15日までの14日間の会期中で、3月定例議会が開かれました。
町長から行政全般について報告されたほか、条例案件、一般会計及び特別会計予算案など、39議案が慎重に審議され、全て原案のとおり可決しました。



▲世代間交流住宅「せせらぎ」

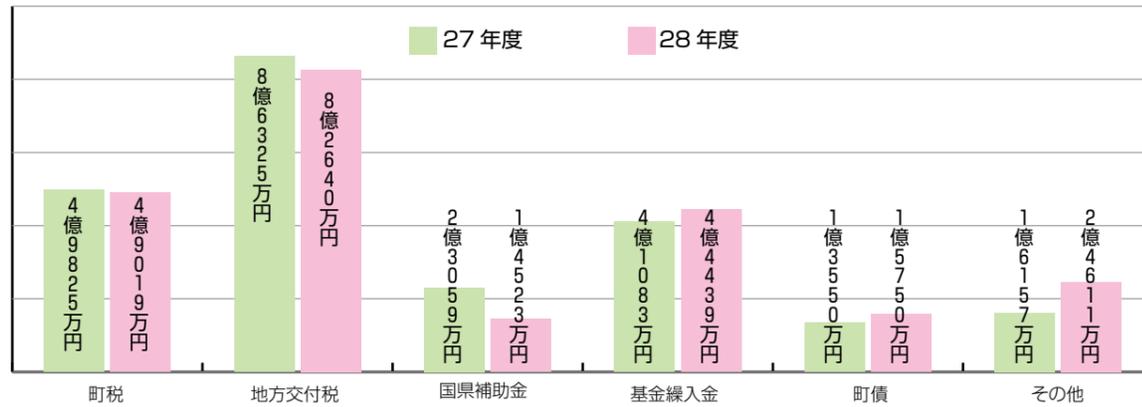
一般会計

歳入 ダム交付金など国有資産等市町村交付金が765万円の減。個人の町民税で235万円の減となり、町税全体では806万円減額の4億9000万円が見込まれました。
町税その他貸付金等を含めた滞納総額は昨年と同様の2000万円程度。
地方交付税は国の地方財政計画をベースに試算され、普通・特別交付税の総額を8億2639万円と前年度より3680万円ほど減額が見込まれました。
地方債は過疎対策事業債4650万円のほか、公共事業債1500万円、臨時財政対策債は前年度とほぼ同額の9600万円が見込まれました。

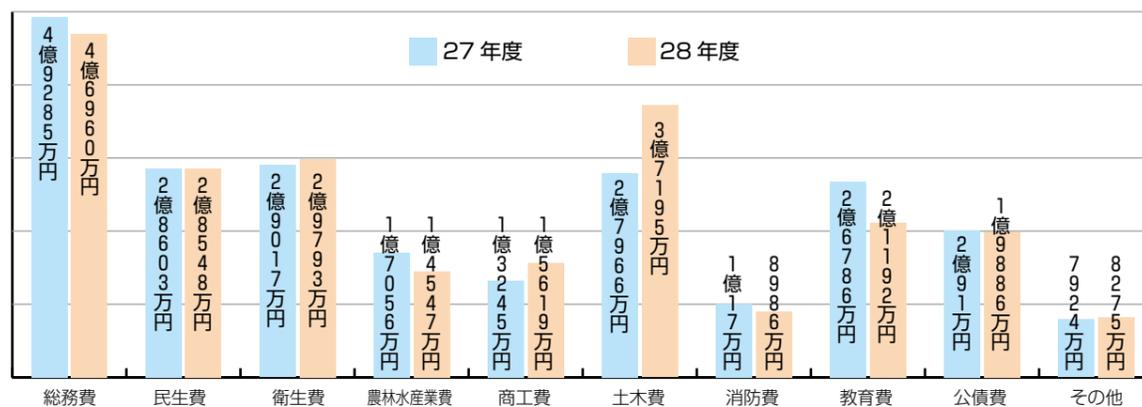
歳出 「第5次七ヶ宿町長期総合計画」の実行計画に位置づけられている新過疎地域自立促進計画の初年度で、また、昨年12月に策定したふるさと創生総合戦略実行の実質初年度に当たります。人口減少の速度を緩やかにするために若者の流出を食い止め、外から若者を呼び込む施策をバランスよく展開し、長期的視点に加え危機感を持って有効な対策を早期に講じることにより、小さくても持続可能なまちづくりが推進されます。
平成28年度は、担い手住宅整備事業、町道舗装及び橋梁耐震事業、農道施設改修事業、消防ポンプ積載車購入、社会教育施設の修繕などを実施することから、投資的経費としては歳出総額の15.5%、3億5650万円が計上されました。
投資効果として、若者定住促進、幹線道路の整備と消防防災機能の充実が図られるものと期待します。

平成28年度予算総額 **32億3130万円**
 新年度予算は一般会計が23億1千万円、特別会計が9億2130万円と、前年比4030万円(1.3%)の増となりました。

財源の構成 (歳入)



経費別の構成 (歳出)



町長の要旨説明

地方創生
移住定住の促進や雇用拡大への誘導、将来担い手となる人づくりを行うための**新たな事業予算を措置**しました。

空き家対策
空き家等対策計画策定のための協議会を設置するほか、助成制度等を創設し計画策定に取り組みます。

南蔵王エリア
南蔵王青少年旅行村、横川渓谷、長老湖周辺を1つのエリアとして**観光交流施設の再認識と再整備**を行うため計画を推進します。

保育料
本年度から**全額を減免**し、さらに子育て支援の充実を図ります。

社会教育
心豊かに安心して学習できる機会を設けるため、**関係機関と連携を進めた生涯学習体制**を充実します。

高齢者教育
生涯にわたって学び合いを続けるため、「**豊齢者大学**」を関係機関等の連携のもとに実施します。

文化財保護
町指定建造物文化財である**東光寺山門**は、将来に引き継ぐべき文化財と考へ修繕費の一部を助成する経費を計上しました。

社会教育施設整備
滑津公民館の広場の舗装、長老公民館の修繕や水と歴史の館の屋根塗装等の修繕、老朽化したテニスコートの改修など、**町民の健康増進と中学校の部活動の環境整備**に努めます。